

目標達成計画

作成日: 令和 6 年 11 月 5 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けに取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	10	入居者の小口現金管理について、現在は本社より残高のみ通知しているが、支出の内訳が不明である。	①小口現金の取り扱いに関して透明化を図る。	①購入時に発行されているレシートを添付することで、購入品の確認や金銭の動きを明確にする。	3ヶ月
2	34	施設内の事故については、職員の見守りや巡回だけでは、転倒など事故のリスクを軽減することが難しい。	①施設内に潜む事故につながるリスクや、ヒヤリハットの軽減を図る。 ②共用部で事故があった際に、適切に記録に残し、再発防止を徹底する。	①リスクマネジメント担当者を配置し、施設内の事故につながるリスクの軽減を図る。 ②共用部にカメラを設置し、共用部で事故があった際には、録画を確認し、詳細な記録のために活用し、再発防止を徹底する。	3ヶ月
3	27	現在、個別の記録については、紙ベースによる記録となっており、職員の負担となっている。また、介護記録やケアプラン(アセスメントやカンファレンスも含めて)については、個人情報保護の観点から誰でも閲覧できるような状態は改善が必要。	①IT化を推進し、業務の効率化を図る。 ②電子化を行う事により、IDやパスワードによる閲覧権限を設定する。	①-1パソコンやタブレット端末による入力を行う。 ①-2導入実績が豊富な介護ソフトの導入する。(実績が豊富な介護ソフトを導入することにより、新人職員に操作経験があれば、研修期間も短期間で行える。また導入時の指導も手厚い) ②本社で認証取得しているプライバシーマークの個人情報保護規定に基づいたIDとパスワード管理を行う。	6ヶ月
4	49	施設内外でのレクリエーションがマンネリ化していることが課題。	①施設内外イベントの企画 ②地域のイベントへの出席・参加	①吹田市のボランティアを活用する。 ②イベント会場までの移動について社用車の活用や福祉車両のレンタルなどにより実現する。	6ヶ月
					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。